



ボン大学（ドイツ）

《2年 日本語日本文学科 2018年度参加》

今回の語学研修が私にとって初めての海外であったために、ドイツだけでなく外国そのものの印象が変わりました。日本と比べると、日本の設備がさりげないけれどとても恵まれていたり、この制度は日本にもあった方がいいのではないかと感じたり、異文化を理解していくうえでとても大きなきっかけになったのではないかと思います。

《1年 基礎課程 2018年度参加》

1人部屋で孤独を感じたが、食料は全て近所のスーパーで購入し、1ヶ月間乗り切ることができた。洗濯や掃除をすることも含め、一人暮らしをするのは初めてだったので心配だったが、やればできるということがわかって、自分に自信がついた。ドイツ語のクラスを変えたいと相談した時に、先生方がすぐに対応してくださったので、変えてもらえることができた。モジュールの先生もとても良い人だと思った（モジュール：学習活動の一つ）。



(写真はフランス短期留学参加者提供
本文とは無関係です)

《2年 哲学科 2018年度参加》

現地でのサマースクールには世界各国から様々な学生が参加しており、その誰もが積極的に授業や課外活動に参加していたことが印象的でした。文化や考え方、言語の壁があっても互いに尊重しあう姿勢を美しいと感じました。授業は基本的に全てドイツ語で行われました。自分の実力よりも上のクラスに入ったため、スピードも速く、課題も多く、かなり大変でした。クラスの変更は可能でしたが、下のクラスでは簡単すぎたのもとのクラスにとどまりました。